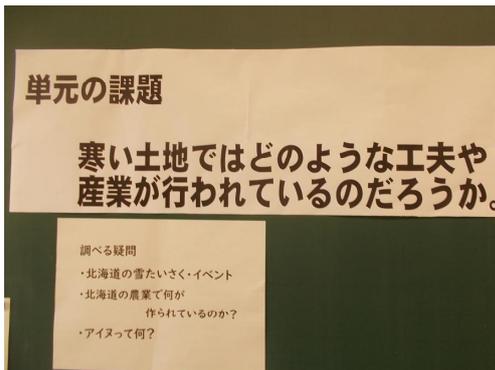


5・6年生の公開授業

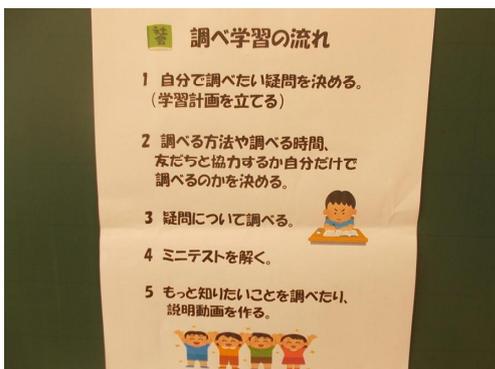
5月21日（水）に5年生（下飯教諭）、6年生（大川教諭）による公開授業がありました。どちらの授業も、教諭の指導やアドバイスを児童が個々に受けながら、児童自身で学習計画を立て、自分で、あるいは仲間と協力しながら学習を進めていく「自由進度学習」という先端を行く授業が公開されました。そのため、群馬県総合教育センターの指導主事やそこで研修している教員、また、高校の教員等が参観に来ていました。子どもたちは緊張の中にありながら、集中して取り組めていました。



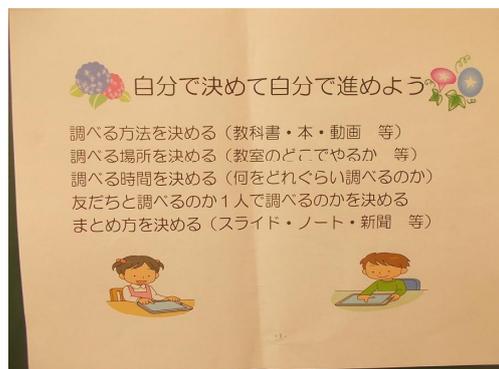
（単元の課題を掲示し、おおまかな方向を示します）



（個別最適な学びに向けた助言）



（学習の進め方を共通理解します）



（自分で学習計画を立てます）



資料展示（環境整備のひとつ）

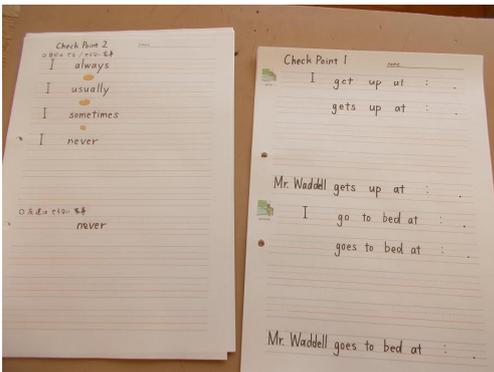
社会科では、寒い土地に住む人々が雪や寒い気候をどのように暮らしにいかしているかという単元を貫く課題に対して、自分で立てた学習計画にもとづいて調べていました。課題解決のために、実物の資料やタブレット内に動画の資料などが十分な準備がなされていました。



(さまざまなチェックポイントとしてALTとのコミュニケーションに取り組みます)

外国語活動ではさまざまなチェックポイントが用意されており、児童が自分で立てた学習計画や自分の課題に従って学習を進めていました。

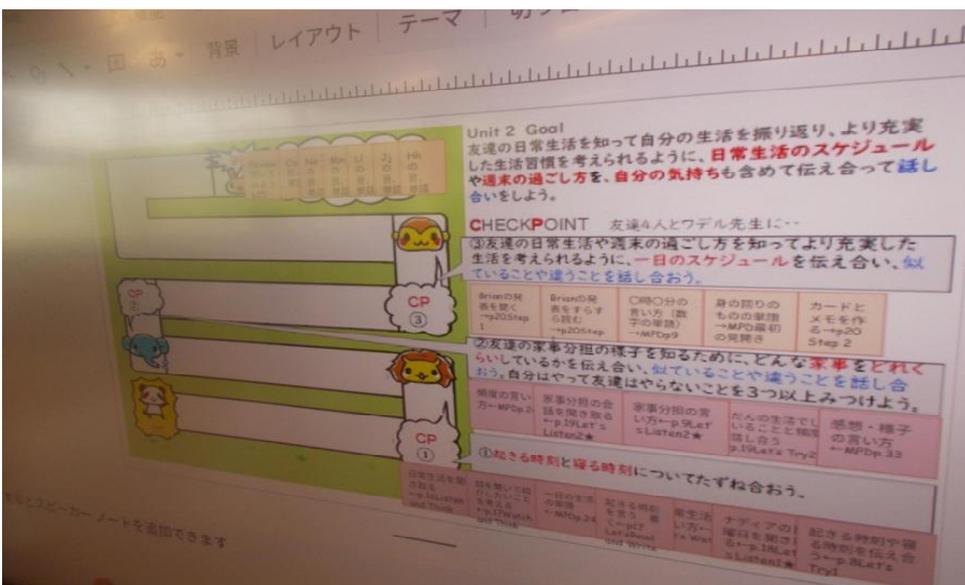
左の写真は、ALTと会話をする事により、コミュニケーション能力の向上を目指しています。その他にも、下の写真のようにコミュニケーションの補助となるワークシート等を準備し学習環境の整備をしています。



(コミュニケーションのための補助教材)



(教室脇に設けられた課題)



(課題(チェックポイント)は電子黒板と子どもたちのタブレットパソコンでいつでも確認できます)